

哀歌は流れる
高樹のぶ子



少年少女
日本文学館

30

ノックシンヨン名作選

向田邦子
河合雅雄
植村直己
灰谷健次郎

講談社

向田邦子 灰谷健次郎 河合雅雄 梅棹エリオ
椎名誠 植村直己 黒柳徹子 小泉文夫
日高敏隆 澤地久枝

少年少女日本文学館 30

ノンフィクション名作選

講談社 1988

398 p 23cm

内容：字のない葉書 ごはん 襲 二つの盗み 骨くんの話 裏藪の生き物たち 熱気球イカロス5号(抄) 二日間のプレゼント 朝焼けのゴジュンバ・カン 窓ぎわのトットちゃん(抄) 人はなぜ歌をうたうか(抄) 昆虫における時間 おとなになる旅(抄)

むこうだくにこ はいたにけんじろう かわいまさお うめさおえりお しいなまこと うえむらなおみ くろやなぎてつこ こいずみふみお ひだかとしたか さわちひさえ

少年少女日本文学館

第三十巻

ノンフィクション名作選

定価 一四四〇円

(本体 一三九八円)

一九八八年 五月二十三日 第一刷発行
一九八九年 四月 四日 第二刷発行

著者

向田邦子 灰谷健次郎 河合雅雄 梅棹エリオ
椎名誠 植村直己 黒柳徹子 小泉文夫
日高敏隆 澤地久枝

発行者

加藤勝久

発行所

株式会社 講談社

東京都文京区音羽二一二二二一

郵便番号 一一二

電話 東京(〇三) 九四五一一一一(大代表)

印刷所

株式会社廣済堂

製本所

黒柳製本株式会社

◎向田せい

黒柳徹子

灰谷健次郎 河合雅雄 梅棹エリオ 椎名誠 植村公子
小泉三枝子 日高敏隆 澤地久枝 一九八八年

落十本・乱十本は、小社書籍製作部あてにお送りください。送料小社負担にておとりかえします。なお、この本についてのお問い合わせは、児童局児童企画あてにお願いいたします。

Printed in Japan

ISBN4-06-188280-5

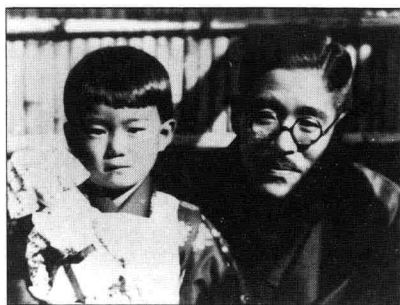
(児企)

向田邦子

（一九二九～一九八一）



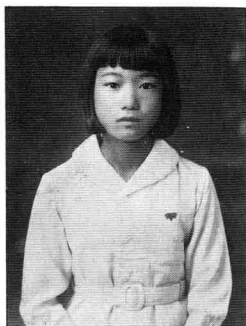
じたくにわちちとしお
自宅の庭で父敏雄
といっしょに（昭
わねんしょう
和10年ごろ）



えんぱんしょうがっこうぞつぎょう
四番丁小学校を卒業したこ
ろ（昭和十七年）



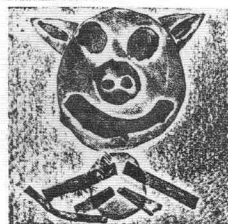
ちよしやあいねこ
著者がとても愛した猫のマミオをだいて



はいたにけんじろう
灰谷健次郎
(一九三四～)



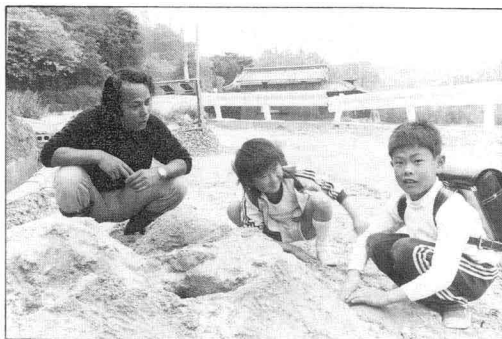
きりん



しょうがつかう きょうし じ だい へんしゅう くわ
小学校の教師時代に編集に加わっていた、子どもの詩をのせた雑誌「きりん」



ちよしや たいようこく たいよう こ ほわ
著者の代表作「太陽の子」と、「骨
くんの話」などが収録された「わ
たしの出会った子どもたち」の本。



こ ども たち に 話 し か け る 著 者 (淡 路 島 で 、 昭
和 56 年)



かわいまさお
河合雅雄
(一九二四)

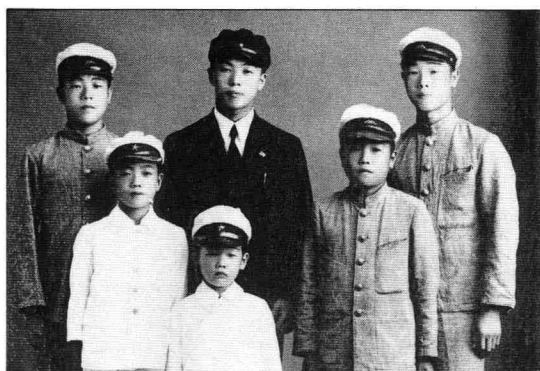
少年動物誌 河合雅雄



「少年動物誌」の本
(1976年福音館書店刊)



にいがたこうこうじだい
新潟高校時代

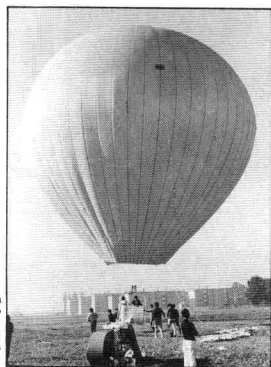


ほうめいちゅうがくねんせい　ちやうしや　こうれつひだり　せんれつ　おとうと
鳳鳴中学2年生のころの著者（後列左）。前列は弟
たちで左から隼雄、逸雄、迪雄（道雄）、後列右は
じ　けい　ただし　にい　ちやうけい　ひだり
次兄公（タント兄）、中央は長兄仁（オキヤン）。

うめさお
梅棹エリオ
(一九四八)



京都大学のグラウンドで、熱気球をふくらませる実験をする著者（いちばん手前）となかまたち。



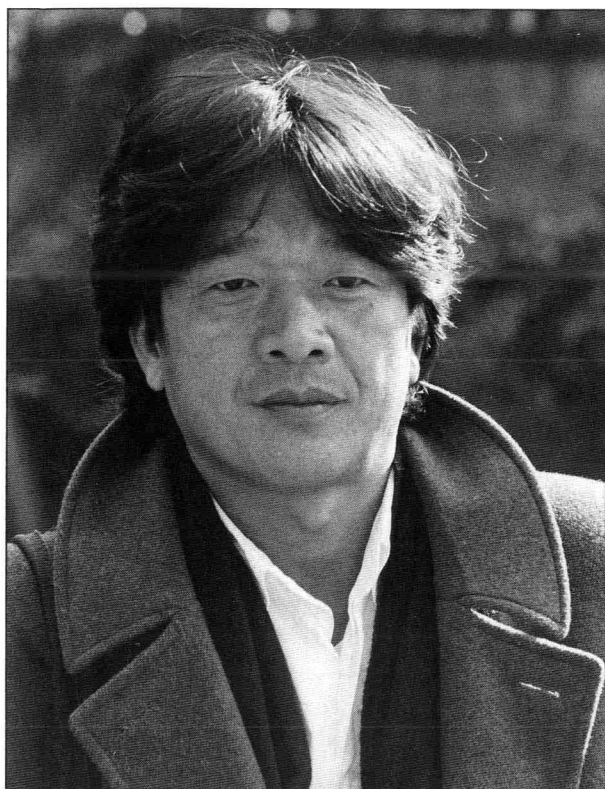
ふくらんだ熱気球



北海道の留寿都村で、いよいよ熱気球に乗りこんだ著者（左）と、なかまの田中厚生。



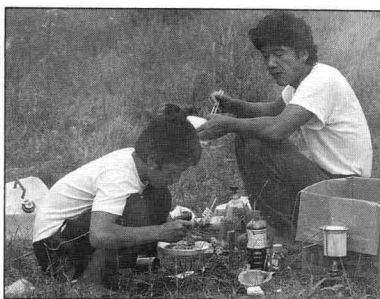
しいな
椎名
(一九四四)
まこと
誠
()



千葉県立千葉高校一年生のころ。左が著者、右は「岳物語」のさし絵を描いた沢野ひとし。

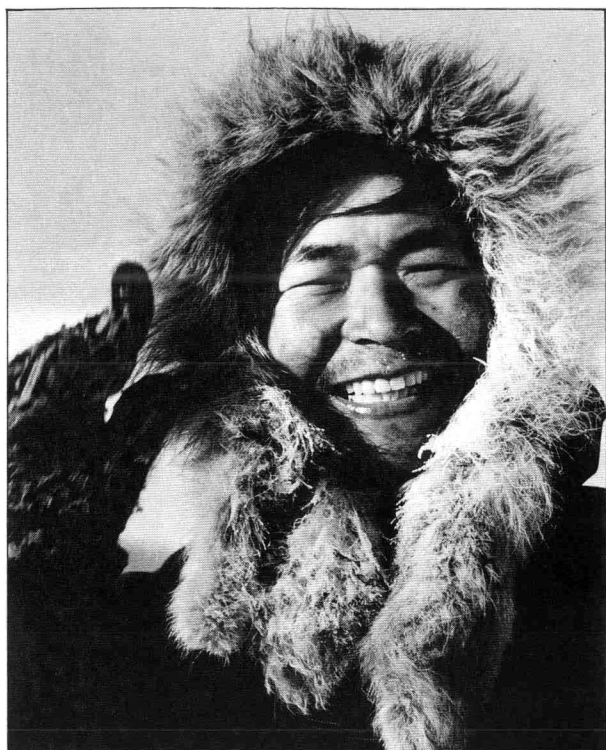


小学校六年生の長男と、いっしょに北海道の十勝川へでかけて（昭和六十年）



シベリアの極寒の地で毛皮の服を着こんで（昭和59年）

うえむらな おみ
植村直己
(一九四一～一九八四)



めいじ だいがく えんせいたい さんか
明治大学遠征隊に参加
してゴジュンバ＝カン
さんちよう た しよう わ ねん
山頂に立つ(昭和40年)



ほつきよくてん いぬ はし ちよしや しよう わ
北極点をめざして犬ぞりで走る著者(昭和53
年, 世界初の北極点犬ぞり単独行で)



にほんさんかくかい えんせいたいだい
日本山岳会エベレスト遠征隊第1
じていさつたい さんか みさ ちよしや
次偵察隊に参加して(右が著者,
しろう わ ねん
昭和44年)

くろやなぎてつこ
黒柳徹子
 (一九三二)



トモエ学園に転
 校するまへの6
 歳のころの著者

ゲリラに鉄道を破壊され、雨ざらしの汽車の中に、
 9000人もの人たちが住んでいた。トモエ学園の電
 車は、笑い声が絶えず、希望でいっぱいだったの
 に……。 (モザンビークの難民キャンプで)



日本ろう者劇団の公演「白雪姫」に出演して
 (昭和58年)。この劇団は著者の設立した社会
 福祉法人「トット基金」によって運営されて
 いる。



「窓ぎわのトットちゃん」の
 本(一九八一年講談社刊)

小泉文夫

(一九二七—一九八三)



NHKテレビに出演して。著者は中近東・アジア・アフリカなど、世界じゅうの民族音楽の紹介に熱心だった。



著者が世界各国から集めた民族楽器

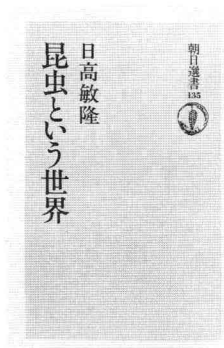
此为试读, 需要完整PDF请访问: www.ertongbook.com



「昆虫という世界」を雑誌に連載して
いたころの著者



ひだかとしたか
日高敏隆
(一九三〇)



「昆虫という世界」の本
(一九七九年朝日新聞社刊)



小学校4年生のころ、母智子、妹たち（左から淑子、孜子）といっしょに。

さわち ひさえ
澤地 久枝
(一九三〇)



はは
さい
5 歳のころ母と

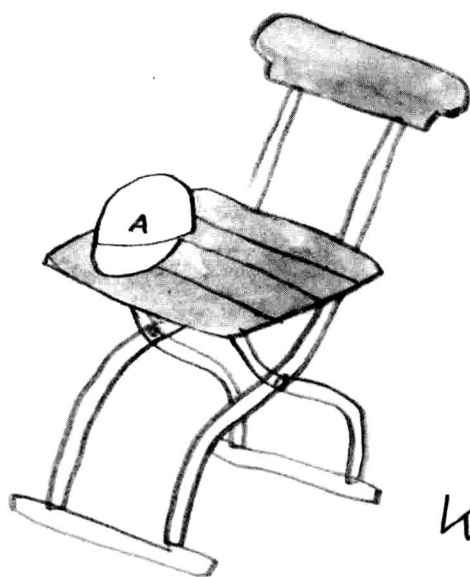


ねんせい ちよしや
きつりん こうとうじょうがっこう
吉林高等女学校 2 年生の著者
こうれつちゅうおう
(後列中央)



ねんせい かぞく
きつりん あさひ ざいまん こくみんがっこう
吉林朝日在満国民学校 6 年生のころ、家族と
おとうと ちち ちよしや いっしょに
いっしょに。左から母、弟、父、著者、妹。

も
く
じ



Wa

向田邦子
むこうだくにこ

字のない葉書
じのないはがき

ごはん

襷
ひだ

灰谷健次郎
はいたにけんじろう

二つの盗み
ふたつのぬす

骨くんの話
ほねくんのはなし

河合雅雄
かわいまさお

裏藪の生き物たち
うらやぶのいきものたち

79

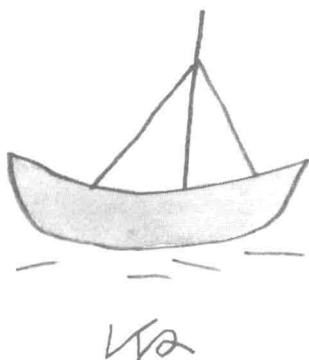
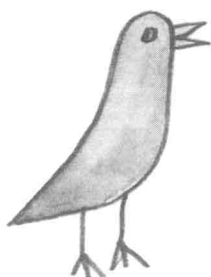
56

39

31

17

11



梅棹エリオ
うめさお

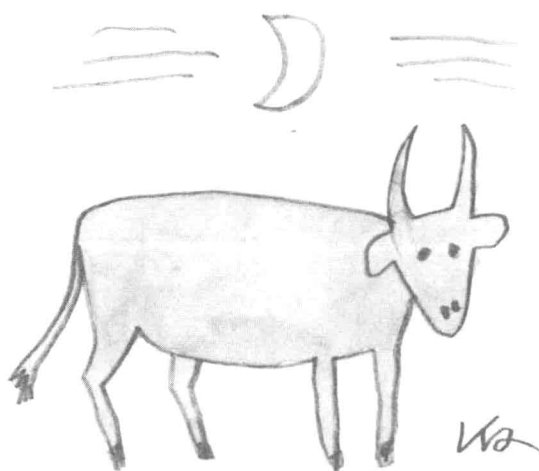
熱気球イカロス5号(抄)
ねつききゅう
ごう
しやう
.....
109

椎名誠
しいな
まこと

二日間のプレゼント
ふつか
かん
.....
153

植村直己
うえむらなおみ

朝焼けのゴジュンバ・カン
あさや
.....
213



くろやなぎてつこ
黒柳徹子

まど
窓ぎわのトットちゃん(抄)……………245

あたらしいがっこう
新しい学校……………247

じゅぎょう
授業……………249

うみやま
海のものゝ山のもの……………253

プール……………260

なつやす
夏休みが始まった……………264

はたけ
畠の先生……………269

ほんとう
「本当は、いい子なんだよ」……………275

さよなら、さよなら……………278

こいずみふみお
小泉文夫

ひと
人はなぜ歌をうたうか(抄)……………283

